

年末の交通事故防止県民運動

Light up!

自分から つけるライトで 消える事故



反射材を身につけよう

12月1日月～15日月
令和7年

古河警察署・古河市・古河地区交通安全協会・古河市交通安全母の会連合会
古河地区安全運転管理者協議会・古河地区地域交通安全活動推進委員協議会

自分からつけるライトで消える事故

横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上

その手で合図！止まってくれてありがとう

横断時に合図をすれば、ドライバーは歩行者に気づきやすくなります。また、会釈などで感謝を示せば、ドライバーの優しい気持ちが育まれ、横断歩行者保護意識の向上につながります。

こどもや高齢者を交通事故から守りましょう
横断歩道は歩行者優先。

歩行者等がいる場合または、横断しようとしている場合は必ず停止しましょう。



歩行中に亡くなった方のうち、
道路横断中の交通事故死者が
約7割を占めています

(令和7年1月～8月末)

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れ時は
早めの
ライト点灯

冬は日没時間が早く、夕暮れ時や夜間の
交通事故が多発する傾向にあります。
反射材を活用するとともに、自動車や自転車の
早めのライト点灯を心がけましょう。



茨城県内の
交通事故
死者数
49人

夜間 20人

約40%

(令和7年1月～8月末)

反射材を活用しよう！

歩行者が横断中の交通事故が多発しています。
交差点では信号を守るとともに、横断歩道でも走行車両がないことを確認してから渡りましょう。
また、反射材を活用しましょう。



飲酒運転の根絶

飲酒運転は、単なる交通違反ではなく、**悪質な犯罪**です。一人ひとりが「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。



発生件数 5件

飲酒運転による
死者数 (令和7年8月末)
全国ワースト2位

帰りはハンドルキーパーに任せ!

ハンドルキーパー運動

自動車で飲食店に行き飲酒する場合に、仲間同士や飲食店の協力を得て、飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人は酒を飲まず、仲間を自宅まで送り、飲酒運転事故を防止する運動です。

